

# 小山市事務事業評価シート

令和4年度版

No. 1

<b>1. 基本情報</b>				
<1> 事業・業務名	「市民フォーラム」の開催		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	② 事業の範囲や経費等について、市の裁量の余地がある事業		<4> 継続業務・新規業務の別	継続業務
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	1 協働によるまちづくりと誰もが活躍できる社会・ひとづくり	<6> 担当部(局)	総合政策部
	中項目	1-1 みんなで進める協働のまち	<7> 担当所属	シティプロモーション課
	小項目	1-1-1 市民参加	<8> 担当係等	シティプロモーション係
	施策			
<9> 根拠法令・計画等		<10> 関連・類似事業		
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	2 款 1 項 7 目
<13> 実施期間	令和2 年度 ~	年度	<14> 全体事業費	648 千円
<15> 実施手法	直営	「その他」の場合 ( )		

<b>2. Do - 実施 -</b>									
<16> 事業・業務の概要	市長が、市民と様々な討論テーマについて意見や提言を踏まえた対話を行い、市民が小山市に対して抱える様々な想いを共有することで、未来志向のまちづくりを推進していく。								
目的	<17> 事業・業務の目的	市民が考える市政の課題について、市民等と市長、市職員が意見交換し、市政に反映させる							
	<18> 事業・業務の対象	市民及び通勤や通学で小山市に通っている方							
<19> 令和3年度の活動内容	「テーマ版」市民フォーラムを計3回。「地域版」市民フォーラムを計1回開催した。								
手段	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	令和2年度 計画 実績	令和3年度 計画 実績	令和4年度 計画 計画	令和5年度 計画 計画		
	指標とした理由	市民フォーラム開催を周知することで、行政が市民等の意見を求めていることを伝える機会となるため、「テーマ版」開催予定回数を計画数とし、実績には「地域版」を含めることとする。		0	1	3	4	3	3
	参加者数	人	0	67	150	132	120	120	
	指標とした理由	傍聴を含めた参加者の延べ人数が市民等の市政に対する関心を客観的に把握できる数値と考えた。							

<21> 事業・業務の成果	現時点での市民等のテーマに即した市政に対する評価や期待を把握できる							
成果	<22> 成果指標 (活動した結果得られた成果の量や実績)	指標名	単位	令和2年度 計画 実績	令和3年度 計画 実績	令和4年度 計画 計画	令和5年度 計画 計画	
	施策の参考とした所属数	課	0	8	8	17	10	10
	活動指標との関係や成果指標とした理由	市民等のご意見は、現行施策の批判もあれば、評価もあり、全てのご意見が市政に反映できる訳ではないため、施策の参考という表現にした。						
	活動指標との関係や成果指標とした理由							

資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	令和2年度 計画(予算) 実績(決算)	令和3年度 計画(予算) 実績(決算)	令和4年度 計画(予算) 計画(予算)	令和5年度 計画(予算) 計画(予算)		
		千円	0	774	2,357	2,666	2,583	1,935	
		事業費等	千円	0	0	422	344	648	0
		財源内訳	千円	0	0	0	0	0	
		国・県補助金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円			422	344	648	
		上記の主な用途	運営委員報償費						
		人件費	千円	0	774	1,935	2,322	1,935	1,935
	正職員	千円 × 人役	7,737 ×	7,737 × 0.1	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	
	他の職員		×	×	×	×	×		

<b>3. Check - 評価 -</b>			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である
		理由	市政を推進する上で、市民と通勤及び通学する方を対象とするのが最も広い対象の設定である。
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である
		理由	参加者と市長、市職員が意見交換を重ねるには、3時間程度の時間とテーマに沿った意見を持っている方に参加いただく必要がある。
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある
	理由	小山市の展望に対する市民の関心は高いが、テーマに応じた意見を発信できる方は多くない。	
	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1. 妥当である	
	理由	市政を推進する上で、最も根幹となる市民の意見を定期的に伺う機会を設けていることは、行政にとって意義がある。	
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある
		理由	参加者からいただいた意見を市政に反映できる余地はまだある。
効率性	<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか?	1. 大きい	
	理由	市民等の関心が総合計画基本計画施策と関連するようであれば、貢献度はより大きくなる。	
公平性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある	
	理由	市民フォーラム地域版の開催回数を増加させることで、多くの方に意見交換する機会を設けることで、効率を向上させていく。	
<32> 総合評価	<31> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	3. 負担導入は困難である	
	理由	参加者には報償費などを支払っておらず、妥当だと考えている。	
		2. 改善の余地はある	理由 市政に反映できるご意見の聴取方法や行政が解決すべきでない市民等の課題

<b>4. Action - 改善 -</b>			
事業の改善	<33> 事業の課題 事業の改善点	テーマが決定後に市民フォーラム参加者を募集するが、市民等はそのテーマを日頃から考えていないと、意見がないことが多く、市民フォーラム参加に繋がりにくいようである。多くの市民から意見をいただくためには、参加を促すための工夫が必要となる。	

<b>5 Plan - 計画 -</b>			
事業の方向性	<34> 1次評価	所属長	3. 現状維持 理由 市民から直接意見交換をする本事業は市政を推進する上で意義があり取り組むべき事業である。多くの市民に参加をいただくためのテーマ設定や、市政への意見反映等については、今後も課題であり、改善しながら取り組む必要があると考える。
	<35> 2次評価	所管部長	3. 現状維持 理由 市民から貴重な意見をいただける事業であり、実施すべき事業であるが、今後は意見を精査した上で、市政への反映について、庁内で検討できる体制づくりなど検討していく必要があると考える。
	<36> 実施計画・今後の方針	「テーマ版」小山市市民フォーラムを3回/年程度、「地域版」小山市市民フォーラムと合わせ、6回/年以上開催できるよう取り組んでいきたい。	
事業の計画	<37> 活動・成果目標	小山市市民フォーラムでは、毎回30人程度の参加者が集まるようにし、1課でも多くの所属が参考とする意見がいただけるような市民フォーラムとしていきたい。	